

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年8月2日(2012.8.2)

【公表番号】特表2011-524239(P2011-524239A)

【公表日】平成23年9月1日(2011.9.1)

【年通号数】公開・登録公報2011-035

【出願番号】特願2011-514763(P2011-514763)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/56 (2006.01)

A 6 1 B 17/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/56

A 6 1 B 17/58

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月15日(2012.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

縫合糸を骨に固定する固定システムであって、

インプラントであって、縫合糸固定部分を有すると共に前記インプラントを周囲の骨の中に固定する外面特徴部を備えた遠位先端部と、前記遠位先端部に係合して前記縫合糸を前記インプラント内に且つ前記骨に対して定位置に固定するよう遠位側に動くことができる近位部材とを有し、前記遠位先端部及び前記近位部材はそれぞれ縫合糸接触面を有し、前記近位部材が前記遠位先端部と係合するとき、前記縫合糸接触面どうしがその間で前記縫合糸をクランプし、これにより前記インプラント内に且つ前記骨に対して定位置に固定する前記インプラントと、

前記インプラントの近位端部に取り外し可能に連結可能なインサータと、を備えている

、
ことを特徴とする固定システム。

【請求項2】

前記近位部材は、スクリュー部材から成る、
請求項1記載の固定システム。

【請求項3】

前記スクリュー部材は、中央ボアを有する、
請求項2記載の固定システム。

【請求項4】

前記インサータは、前記スクリュー部材の前記中央ボアを通って滑って動くよう構成されたインサータ先端部を有する、

請求項3記載の固定システム。

【請求項5】

前記インサータ先端部は、ねじ山付き遠位先端部を更に有し、前記ねじ山付き遠位先端部は、前記インプラントの前記遠位先端部の近位端部に設けられた対応のねじ山付き穴に螺合するようになっている、

請求項4記載の固定システム。

【請求項 6】

前記ねじ山付き穴のねじ山は、左ねじである、
請求項 5 記載の固定システム。

【請求項 7】

前記縫合糸固定部分は、縫合糸アイレットを有する、
請求項 1 記載の固定システム。

【請求項 8】

インサー タの近位端部に連結された取手部分を更に有する、
請求項 1 記載の固定システム。

【請求項 9】

前記インプラントの外面に設けられていて、前記縫合糸が組織の引張りのために、前記遠位先端部と前記近位部材が係合して前記縫合糸が定位置にクランプされるまで、前記外面に沿って自由に滑って動くことができるようにする縫合糸チャネルを更に有する、
請求項 1 記載の固定システム。

【請求項 10】

前記外面特徴部は、リブから成る、
請求項 1 記載の固定システム。

【請求項 11】

前記リブは、三角形の形をしている、
請求項 10 記載の固定システム。

【請求項 12】

前記インサー タは、前記近位部材を前記インサー タ先端部上でこれに沿って遠位側に押す挿入スリーブを更に有する、
請求項 4 記載の固定システム。

【請求項 13】

前記インサー タは、取手を更に有する、
請求項 1 記載の固定システム。

【請求項 14】

前記取手は、複数個の縫合糸クリートを有する、
請求項 13 記載の固定システム。

【請求項 15】

前記取手は、前記近位スクリューを前記遠位先端部に係合させるよう作動可能なノブを有する、
請求項 13 記載の固定システム。

【請求項 16】

縫合糸固定システムであって、
遠位先端部及び近位スクリューを有する縫合糸アンカーと、
前記遠位先端部の第 1 の接触面と、
前記近位スクリューの第 2 の接触面と、
前記縫合糸アンカーの近位端部に取り外し可能に連結可能なインサー タと、を備え、
前記遠位先端部と前記近位スクリューは、前記縫合糸アンカーを形成するよう互いに螺合可能な別々の構造コンポーネントであり、前記遠位先端部と前記近位スクリューが螺合するとき、前記第 1 の接触面と前記第 2 の接触面も係合してその間に前記縫合糸をクランプし、これにより前記縫合糸アンカーと骨に対して定位置に固定する、
ことを特徴とする固定システム。

【請求項 17】

前記近位スクリューは、中央ボアを有する、
請求項 16 記載の固定システム。

【請求項 18】

前記インサー タは、前記スクリュー部材の前記中央ボアを通って滑って動くよう構成さ

れたインサーダ先端部を有する、

請求項 17 記載の固定システム。

【請求項 19】

前記インサーダ先端部は、ねじ山付き遠位先端部を更に有し、前記ねじ山付き遠位先端部は、前記インプラントの前記遠位先端部の近位端部に設けられた対応のねじ山付き穴に螺合するようになっている、

請求項 18 記載の固定システム。

【請求項 20】

前記ねじ山付き穴のねじ山は、左ねじである、

請求項 19 記載の固定システム。

【請求項 21】

インサーダの近位端部に連結された取手を更に有する、

請求項 16 記載の固定システム。

【請求項 22】

前記インサーダは、前記近位スクリューを前記インサーダ先端部上でこれに沿って遠位側に押す挿入スリーブを更に有する、

請求項 18 記載の固定システム。

【請求項 23】

前記取手は、複数個の縫合糸クリートを有する、

請求項 21 記載の固定システム。

【請求項 24】

前記取手は、前記近位スクリューを前記遠位先端部に係合させるよう作動可能なノブを有する、

請求項 23 記載の固定システム。